

平成 30 年 予想問題 解答解説

大問 1 小問集合② 配点 14 点

問 1 (1 点×4)

20%食塩水 100 g に食塩 20 g 入ってるのだから,  $x$  g には,

$$\frac{20}{100} = \frac{\text{ア}}{x} \quad \text{ア) } = \frac{20}{100}x \text{ 入っている。}$$

同様に イ)  $\frac{10}{100}y$

$$\frac{12}{100} = \frac{1}{x+y} \left( \frac{20}{100}x + \frac{10}{100}y \right)$$

$$12(x+y) = 20x + 10y \quad \text{ウ) } y = 4x \quad \text{エ) } 1 : 4$$

問 2 (3 点)

10000 人のうち,  $10000 - 2000 = 8000$  人の 80% の人々が「可愛い」「普通」と, 答えているので,

$$200 \text{ 万} \times \frac{80}{100} = \text{160 万人}$$

問 3 (1 点×4)

$$\text{ア } 2r \quad \text{イ } \frac{2\pi r^3}{3} \quad \text{ウ } \pi(2r)^2 \times 4r = 16\pi r^3 \quad \text{エ } 24$$

問 4 (3 点)

線分 CD の垂直 2 等分線を引いて, 直線 AB との交点を P とすれば良い。(CD は円の弦)

大問 2 記述させる大問 配点 7 点

問 1 (2 点×2)

$$\text{階級値} \times \text{度数の合計} = 26.6 \times 300 = 7980$$

$$7980 - 350 - 750 - 725 - 3150 - 2250 - 110 - 325 = 320$$

$$300 - 70 - 50 - 29 - 90 - 50 - 2 - 5 = 4$$

アを  $x$  イを  $y$  とすると,

$$\begin{cases} 75x + 85x = 320 \\ x + y = 4 \end{cases}$$

これを解いて, ア 2 イ 2

問 2 (3 点)

(例) 中央値が含まれる階級は, 30~40 点

大問 3 関数 配点 10 点

問 1 (3 点)

$$A(4, 11) \text{ となるから, } 11 = 16a \quad a = \frac{11}{16}$$

問 2 (3 点)

$$0 \leq y \leq 18$$

問 3 (4 点)

$A(4, 16), B(t, t^2), C(4, t^2)$  と表せる。  $-4 < t < 0$  だから,

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} \times (4-t)(16-t^2) \quad \text{【1 点】}$$

直線 AB の式を  $t$  を用いて表すと, 傾き  $(4+t)$  だから,  $y = (4+t)x - 4t$  となるので, AB と  $y$  軸との交点を D とすると,  $D(0, -4t)$

$$\triangle ABO = \triangle ADO + \triangle BDO$$

$$= \frac{1}{2} \times (-4t) \times 4 + \frac{1}{2} \times (-4t) \times (-t)$$

$$= 2t(t-4) = -2t(4-t) \quad \text{【1 点】}$$

$4\triangle ABC = \triangle ABO$  【1 点】,  $t \neq 4$  だから,

$$2(16-t^2) = -2t \quad t^2 - t - 16 = 0$$

$$-4 < t < 0 \text{ より, } t = \frac{1 - \sqrt{65}}{2} \quad \text{【1 点】}$$

大問 4 証明 配点 8 点

問 1 (3 点)

$AB = AD$  なので,  $AD : DC = 1 : 1$ 。点 D は辺 AC の中点となる。高さ EA が共通,  $AD = DC$  なので,

$$\triangle DEC = \triangle ADE = \triangle ABC = \text{1 cm}^2$$

問 2 (5 点) 別解: <https://hokkaimath.jp/blog-entry-15.html>

仮定より

$$\angle ACB = \angle AED \dots \text{①} \quad \text{【1 点】}$$

( $AB = AD$ ,  $\angle BAD = 90^\circ$ ,  $AC = AE$ ,  $\angle CAE = 90^\circ$  だから,)  $\triangle ABD$  と  $\triangle ACE$  は直角二等辺三角形である (相似である)。

したがって,  $\angle ADB = \angle AEC$  【1 点】

また,  $\angle ADB = \angle DBC + \angle ACB$  【1 点】 より,

$$\angle DBC = \angle ADB - \angle ACB \dots \text{②}$$

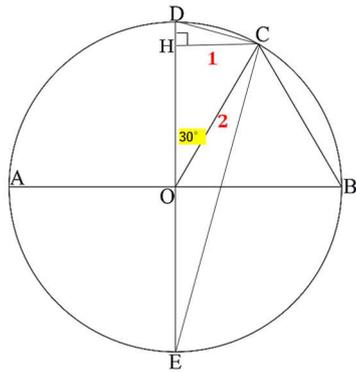
$$\angle DEC = \angle AEC - \angle AED \quad \text{【1 点】} \dots \text{③}$$

①, ②, ③より,  $\angle DBC = \angle DEC$  (証明終わり)

【1 点】

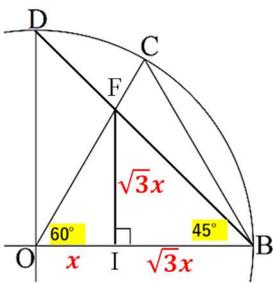
大問5 学校裁量問題 配点 21 点

問1 (1) (4点)



C から OD に垂線 CH  
を下ろす。∠COD=30°  
だから、CH=1 cm  
△ CDE  
=  $\frac{1}{2} \times 4 \times 1 = 2 \text{ cm}^2$

問1 (2) (4点)



F から OB に垂線 FI を下ろす。  
∠FOI=60°, ∠OBF=45°だから、  
FI=√3x とすると、  
OI = x, BI = √3x となる。  
△ OBF  
=  $\frac{1}{2} \times (x + \sqrt{3}x) \times \sqrt{3}x$   
=  $\frac{3}{2} (3 + \sqrt{3})$

整理して、 $(\sqrt{3} + 3)x^2 = 3(3 + \sqrt{3})$

$x^2 = 3$   $x > 0$  より、 $x = \sqrt{3}$

半径は、 $x + \sqrt{3}x = \sqrt{3} + 3 \text{ cm}$

問2 (4点)

$x^2 - 2ax + b = 0$  を解の公式で解くと、

$$x = \frac{2a \pm \sqrt{4a^2 - 4b}}{2} = \frac{2a \pm 2\sqrt{a^2 - b}}{2}$$

=  $a \pm \sqrt{a^2 - b}$   $a^2 - b$  が平方数となれば良い。

$a=1$  のとき、 $1-b$ 、平方数となるのは、 $b=1$

$a=2$  のとき、 $4-b$ 、平方数とはなるのは、 $b=3, 4$

$a=3$  のとき、 $9-b$ 、平方数となるのは、 $b=5$

$a=4$  のとき、 $16-b$ 、平方数となる  $b$  はない。

$a=5, a=6$  のときもない。

合計 4 通りだから、求める確率は、 $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$

※ 平方数とは、自然数の 2 乗になる数。4 とか 9。

問3 (1) (5点)

体積比、立体 P-QIKJ : 立体 P-FBCG

=  $(2x)^3 : (3x)^3 = 8x^3 : 27x^3 = 8 : 27$  なので、【1点】

W : 立体 P-FBCG = 19 : 27 【1点】

V = S × 6 と表すと、

立体 P-FBCG

=  $S \times 3x \times \frac{1}{3} = Sx$  よって、 $W = \frac{19}{27} Sx$  【1点】

5W = V だから、

$\frac{95}{27} x = 6$  【1点】  $x = \frac{162}{95}$  【1点】

(2) (4点)

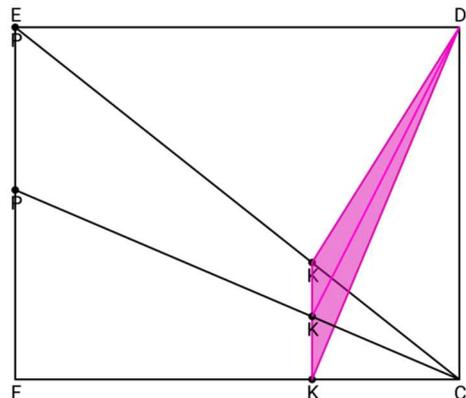
長方形 EFCD を考える。

常に K は、CK : KP = x : 2x = 1 : 2 を維持しながら動く。よって、以下のように動く。

底辺 2 cm、高さは

$6\sqrt{2} \times \frac{1}{3} = 2\sqrt{2} \text{ cm}$  なので、求める面積は、

$\frac{1}{2} \times 2 \times 2\sqrt{2} = 2\sqrt{2} \text{ cm}^2$



作成：高校入試 数学 良問・難問

<https://hokkaimath.jp/>